

県P連だより

広島県 PTA 連合会

陽だまり

No.

78

2026.03

能登被災地訪問
研修事業特集号

届け、 つな がれ

広島から輪島へ

研修事業 in 輪島

2025



今、そして未来の子どもたちのためにできることを

2025年11月1、2日

能登被災地訪問研修事業 in 輪島



行ってきます!

1日目

出会い
そして出発

初めて会った、名前さえもまだ知らないメンバーとともに出発です。はじめはみんな緊張した表情でしたが、新幹線に乗るとすぐに仲良くなりました。今日から2日間、共に学ぶ仲間です。よろしくお願いします!



被災地訪問

金沢駅に着き、ここからはバスに乗って被災地訪問です。バスの中では、輪島市PTA 連合会の山田会長が被災地の様子を案内してくれました。山崩れで木々が倒れている場所、工事中の道路やブルーシートで覆われたままの家、傾いた信号機や電柱など、バスから見える景色からも被災の惨状がわかりました。バスを降り、隆起した場所なども歩きました。復旧できていない場所はまだまだたくさん残っています。



Let's ビンゴ!

宿舎まであと少し。
暗くなったバスの中では、
ビンゴ大会で盛り上がりました!

「国立能登青少年 交流の家」

宿舎に到着



夕食のあとは、懇親会。
班対抗の輪島クイズ!
班の絆も深まりました☆
1日おつかれさまでした。



おやつ時間♪



夕食
懇親会

朝日小学生新聞・朝日中高生新聞教育チーム高橋宏輔様のご厚意により、1日目の研修資料として能登半島地震についての新聞記事をご提供いただきました。ご協力ありがとうございました。

11/1、2(土・日)と広島県 PTA 連合会主催にて県外研修事業「能登地震被災地訪問 in 輪島」に県内41名の子どもたちと一緒にに行ってきました。この事業は、令和6年能登地震直後に尾道市P連管轄の子どもたちが被災地輪島に向けて、募金活動とメッセージ活動を行ったことがご縁となり、募金寄付先の輪島市PTA連合会の山田会長のご協力のもと今回の開催に至りました。

県内41名の子どもたちは小学校5年生から中学校3年生で、県P連管轄の17の郡市から参加してくれた学年も地域も越えて出会った子どもたち。広島駅、福山駅からそれぞれ朝早く出発し、昼過ぎには金沢駅に到着。その後、山田会長と合流し、バスにて3時間をかけて被災地輪島へと向かいました。

輪島へ近づくにつれて、道路の隆起やひび割れ、傾いたままの信号や標識、豪雨災害時に流され横転したままの車、仮設住宅で炊き出しをしている姿など、2年弱たった今も被災のあとが目前に広がっていました。

輪島に到着し、バスを降り、実際の被災状況をさらに目の当たりにしました。思わず「怖い」と言ってしまう児童もあり、被害の深刻さは、テレビで見るとはやはり違いました。

2日目は、実際に被災された山田会長に1時間半にわたり、当時の状況や被災時に気を付けることなど、ご講演いただきました。

その時の子どもたちの必死にメモを取る姿、真剣に講師を見つめる目は、

今も脳裏に焼き付いています。

この2日間、私たち大人でさえも多くの「学び」がありました。子どもたちにとってもきっと災害や防災について、たくさん考えるきっかけになったと思います。

山田会長、そして輪島の地に心より感謝いたします。

今回の研修では、防災研修だけではなく、バス車内でのビンゴ大会、夜の懇親会（輪島クイズ大会）、みんなで楽しくお風呂、寝る前の秘密の時間など、たくさんの交流の時間もありました。

大阪駅での広島、福山組のお別れの際、中学生男子が涙を流しながら再会を誓っていたのがとても心に残っています。

1泊2日の輪島の旅、移動もとても多く、子どもたちには大変な時間も多かったと思いますが、本当によく頑張ったと思います。

みんな、本当にお疲れさまね。

解散のときのみんなの笑顔を見たときに、「開催して本当によかったな」と思うと同時に、「みんな無事に帰れてよかった」と、企画発起人として安堵したことを思い出します。

今回参加してくれた子どもたち、そして何より私たちを信頼して送り出してくれた保護者の皆さま、本当にありがとうございました。

またどこかで会いましょう!!

広島県 PTA 連合会 筆頭副会長
能登被災地訪問研修事業 実行委員長 工藤 孝之



朝のつどい・朝食

朝のつどいで研修事業について発表しました。



講演会

輪島市 PTA 連合会山田会長にご講演いただきました。実際に被災された山田会長は、子どもたちにもわかりやすくお話しくださり、命を守るために大切なこともたくさん教えてくださいました。



みんな真剣に聞いています。知らなかったことをたくさん学びました。



山田会長から、みんなに輪島塗の箸をプレゼントしていただきました！
2日間、本当にありがとうございました！

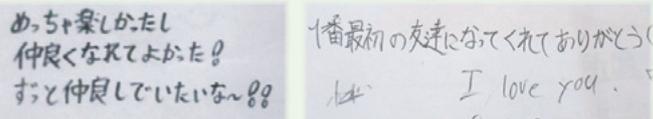
ともだちノート

宿舎の方へお礼を言って出発です
お世話になりました！



もうすぐお別れ...

たったの2日間だったけれど、ともに笑い、
学び、考え、感じた...
仲間たち！ありがとう！



また会おうね!

広島県 PTA 連合会管内の小学校5年生から中学校3年生が相互に交流し、友情を深めながら、豪雨災害や地震等に対してどう対応するか、どう行動すべきかを能登半島沖地震の被災地である石川県輪島市を訪問し、現地視察するとともに、被災者から体験談を聞くことを通して、学び、考え、防災の在り方について視野を広めることを目的としてこの事業を行いました。

参加した子どもたちの感想文の一部を紹介します

ぼくは、普段から防災について興味があるので参加を決めました。実際に自分の目で見た被災地は、まだ手付かずのところも多くあり、思っていた以上に復興が進んでいませんでした。特に山のあたりでは、崩れた土や木がまだ残っていたり、土のうで仮に補っていたり、道が崩れていたりとところがとてもたくさんありました。山田さんのお話の中で何よりも水が大切だと言われていたことが印象的でした。これは家族や友達にも伝えたいと思いました。2日間という短い時間だったけど、とても勉強になりました。また他市の人たちとも友達になることができ、参加してよかったと思いました。山田さんからいただいた輪島塗の箸は一生大切にします。本当にありがとうございました。少しでも早く復興できるように広島から応援しています。



ぼくは輪島の被災地を見て、おどろいた。こんなに家がかたむいていたり、道路がぼこぼこになっているんだ。テレビとはちがう雰囲気だった。輪島市PTA連合会の山田さんは、ぼくたちにもわかりやすく話してくれた。能登半島地震が起きたときの山田さんの気持ちが伝わってきた。ぼくが一番印象に残ったのは、耐震マットをひいているとびくともしなかったという話だ。ぼくはこの話を聞いて、やはり防災グッズは必ず必要なんだと分かった。今はまだ復興中だけどまた明るい輪島が戻ってきてほしい。

ぼくは、この2日間の能登研修を通していろいろな学びがありました。標識や信号がかたむいていたこと、りゅうきして海が陸になってしまったこと、そして自分の都合のいいことを組み合わせると、バイアスという言葉があることも知りました。バスの中でビンゴもして、夜アイスも食べました。いろんなことを学べたし「自立」も実現できました。最高の仲間もできました。一生に一度の忘れられない思い出になりました。この経験を未来へ生かしたいです。



石川県の被災地で石川の現状や過去についてたくさんのことを教えてもらいましたし、青少年交流の家や新幹線やバスで本当にたくさんの方の大切な経験をさせていただきありがとうございました。石川の被災地で教えてもらったことを友達などに教えて石川がどれだけ大変なのか、どんな現状なのかを伝えます。ぼくがこの二日間でいちばん嬉しかったことはたくさんの方やPTAの方々に出会えたことです。本当に二日間お世話になりました。

ぼくが研修で一番心に残った事は自助と共助です。山田さんが、避難が遅れた子供達の多くは親を待っていたからと言っていました。もしかしたらぼくも待ってしまうかもしれないと思いました。でも災害の時は、自分の命を優先して自分で考えて行動する。被災地を回って災害の怖さを知る事ができました。この研修で学んだたくさんの事を親や友達にも伝えて、災害の時に正しい行動ができるようになりたいです。



私の研修の目標は「今まで知らなかったことを新たに知る」だった。能登半島地震の時の映像を見たり、現地に行って実物を見たり、山田さんのお話を聞いたりしていると、自然と防災意識が高まった。「防災グッズを準備しておかない」と思った。今、弟が四年生で、防災の勉強を総合的な学習でしているので、一緒に準備するように親に言うように思う。

私は今回能登へ行き、多くの新しい事を経験しました。被災地見学では、実際に見ないと想像がつかないほどの光景に恐ろしさを感じました。荒れ果てた市街地は正直「廃墟」のようだと思ってしまいました。実際に被災された山田さんのお話は、他人事だと思っていた私の心を強く刺激しました。今回このような貴重な経験ができたことは私の人生を変えてくれたと思います。それを自分だけに留めず多くの人に伝えたいです。



私は、この研修で初めて実際に災害がおきた現場を見ました。私は学校の「マイプロジェクト学習」で自分の住む町のハザードマップを使って防災カルタを作っています。今の石川県の現状や学んだことを生かしてもっと良い防災カルタを作りたいと思います。こんな機会があったらその時も参加してもっとたくさんの事を学びたいと思います。



私は大きな災害を経験したことがなく、被災という状況について知りたいと思い参加した。車内からの見学が多かったが、輪島市の現状を改めて思い知った。事前に輪島市内の様子を調べていたが、実際は仮設住宅で炊き出しをする住民や一時的に土砂をせき止めているのを見て、まだ仮の状態が続いていると感じた。また講義を通じていつ起きるか分からない災害に対し、事前の準備と、もし被災した時、どんな自分であるべきかを考えておきたいと思った。

私が講演会などで学習したことは二つあります。一つ目は災害について日頃から考えておくことです。災害がきても「前来た時は大丈夫だったから…」など言っているとバイアスがかかっているということも知りました。二つ目は災害がきた時に逃げ道の一つだけでなく七通りほど考えておくことと良いということです。通り道がふさがっていて通れないということががあると教わったので、ルートを見て備えたいと思いました。被災地で、「災害は物と心の準備が必要」ということと「災害を日頃から考えることで命を守る」ということを教わったので、家で災害のことを考え、冷静に行動することに生かしていきたいです。

参加した子どもたちの保護者様からの感想文を紹介します

昨日今日の2日間をはじめ、それまでの企画や準備、連絡などたくさんの方のお力により、息子はとても貴重な体験をさせていただきました。簡単なお礼では足りないくらい感謝の気持ちでいっぱいです。息子はまだ頭の中の整理が終わってないのか、マシガントークでたくさんのお話をしてくれています。話が अच्छこちして、また明日以降改めて息子の話を聞こうと思っています。とにかく楽しかった、時間が足りなかった、まだみんなといたかった、と言っています。友達が出来た、ということもこの2日間の宝物のようです。笑顔で息子が帰ってきたことが親としても本当に嬉しいです。たくさんサポートしていただき、本当にありがとうございました。



この研修に参加したいと言った時には、まだ5年生という事もあり周りの皆様にご迷惑をおかけすることになるのではないかと思います、親の私の方が躊躇してしまいましたが、改札口で迎えた時の達成感に満ちた顔を見て、本当に良い経験をさせていただけたんだということが一瞬で分かりました。



2日間大変お世話になり、ありがとうございました。企画から準備、そして当日まで、皆様の細やかなサポートに重ねて心から感謝申し上げます。移動中の写真も毎回楽しみに拝見しておりました。おかげさまで、本日無事に息子を迎えることができました。息子自身、平成30年豪雨で浸水被害を経験しておりますが、今回の研修を通して、より一層、震災や風水害の「恐ろしさ」を肌で感じる貴重な機会をいただきました。この経験を通して、防災意識をさらに育むための大きな一歩になったと感じており、大変ありがたく思っております。また年代や地域を超えて友達もできたらしく、素晴らしい機会だったと感じています。ちなみに、息子はお小遣いをうまく使ったらしく、残金は82円だそうです。そして、自分で購入したどのお土産よりも、いただいた輪島塗のお箸が一番喜んでおりました。すごく嬉しそうに自慢してくれました。とても良い記念になりました。

2日間、ありがとうございました。話したい事が沢山あり過ぎて、渋滞していますが、これからまたゆっくり色々話してくれと思います。人見知りな娘ですが、とても楽しかったようで、中学生のお姉ちゃんたちが仲良くしてくれた事、引率して下さったPTAの方が、みんな優しく打ち解ける機会をくださった事を嬉しそうに話してくれました。まだ2年たっていない状況で、同じ日本の中で大変な状況があった事を実際に目にし、お話を聞いた事は、大変貴重な経験になり、それを同世代の仲間と共有できた事は、彼女の成長に繋がると信じています。

この度は本当にありがとうございました。被災地の悲惨な現状、美味しかったご飯、色々話してくれましたが、一番の思い出は、出会った友達と解散式で抱き合っ泣いたことだと話してくれました。近年は私とハグしてくれない長男でしたが、駅で友達と別れる際に友達とハグする姿を見て胸が熱くなりました。一期一会という人生の宝物をいただきました。企画していただいた皆様、ご支援いただいた皆様に感謝の気持ち一杯です。広島駅でのお話で、PTAは大切な組織だと改めて感じました。

最後に、輪島市PTA連合会会長 山田様より



今回の企画にあたり、実施を決断し、子どもたちを安全に、そして楽しませることに御尽力された岩本会長をはじめ役員・事務局の皆様、心より感謝申し上げます。あいにくの天候でしたが、子どもたちは真剣な表情で見学していただき、1時間半の研修（大学の講義と同じです）も集中して参加してくれました。この経験を通じて、防災や集団生活の大切さ、人のために動く姿勢を学んでくれたと感じています。不慣れた案内ではありましたが、少しでもお役に立てたなら幸いです。また必要があれば、いつでもお声がけください。



令和7年度日本PTA年次表彰式

開催日：令和7年12月2日（火）
会場：国立オリンピック記念青少年総合センター

PTA推進活動にあたり、顕著な功績を挙げられた全国の団体及び個人に与えられます。広島県からは次の方々表彰されました。素晴らしい成果！おめでとうございます。

【日本PTA会長表彰】

個人：生田 真紀
団体：尾道市PTA連合会・福山市立多治米小学校PTA

【全国小中学校PTA広報誌コンクール表彰】

WEB版日本PTA全国協議会会長賞：東広島市立川上小学校PTA



第51回広島県PTA研究大会

「笑顔の花を咲かせよう！～子どもたちと輪になって～」

開催日：令和7年11月29日（土）
会場：ホテル広島ガーデンパレス

- 「楽しい子育て全国キャンペーン」三行詩表彰式
- 福山市立光小学校による実績発表：「組織運営」

○記念講演

映像作家・ノンフィクションライターの安武 信吾氏をお招きし、
「あなたは子どもに何を遺せますか」というテーマでお話を聞かせていただきました。

「はなちゃんのみそ汁」の著者でもある先生は「弁当の日」という活動をされており、生きていくうえで必要不可欠な食を通し、親子の交流を深める。そしてその時に大事なことは子どもを変えようとするのではなく、まずは大人が変わること。その姿を見せることでよい関係が生まれ自然と変化してくる。これは精神に栄養を与え人間関係を育てる「食育」であると感じました。

「変わるべきは親」「変えるべきは、子どもたちを取り巻く環境」という先生からのメッセージ。
あー自分には足りていなかったなと反省、まだまだこれからでも遅くはないぞと奮起させられる講演でした。



安武 信吾 (やすたけ しんご) 氏

プロフィール

昭和38年福岡県生まれ。63年西日本新聞社に入社。久留米総局、宗像支局、運動部、出版部、地域づくり事業部、編集委員を経て令和2年退職。現在は「食」「いのち」をテーマにしたドキュメンタリー映画を制作。『弁当の日「めんどくさい」は幸せへの近道』で初監督、『いただきます みそをつくる子どもたち』ではプロデューサーを務める。著書に『はなちゃんのみそ汁』『はなちゃんのみそ汁 青春篇』（共に文藝春秋）など。

広島県教育委員会との意見交換会を開催しました

例年行われている広島県教育委員会と広島県 PTA 連合会との意見交換会が12月1日に広島県教育委員会教育長室で行われました。

本会には、広島県教育委員会から重森乳幼児教育・生涯学習担当部長（兼）参与様をはじめ各課課長様等がご出席くださいました。

県 P 連からは岩本会長他7名が参加いたしました。

最初に岩本会長から重森部長様に「意見交換項目」一覧が手渡され、各課からの回答をいただきました。

「特別支援教育の質の向上」については、担任補助の配置の努力を進めるとともに、特別支援学級の担任等の専門性向上に取り組むとの回答がありました。

「部活動の地域展開」については広島のプロチーム等と連携しながら、指導人材を確保していくと共に、地域での活動を希望する教職員の兼職兼業にかかる条件整備を進めると回答がありました。

また、子どもたちの学力と体力の向上についても、県教委として取り組んでいることの説明を受けました。

PTA との連携については、県教委としても今後とも PTA としっかり連携し、保護者と教職員双方が PTA の活動への理解が深まるよう進めたいとのことでした。

また、現在マスコミ等でも報道されている「今後の県立高等学校の在り方に係る実施計画」の基本的な考え方（案）について、今後の少子化の進行に伴う「教職員定数の減少」や県立高校進学希望者の見通しなどの説明を受けました。県 P からは受験回数 の複数化など、子どもたちの不利にならないよう検討いただきたい旨をお伝えしました。

※意見交流会の概略まとめについては、各都市 PTA 連合会に送っていますので、そちらに問い合わせてください。



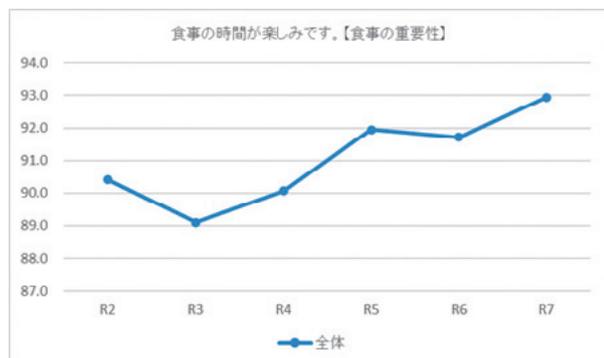
「充実した朝食の時間とするためにできること」

「主食・主菜・副菜がそろった朝食を食べることは、大切なことだと思いますか？」と問われると、おそらく多くの方が「当てはまる。」と答えるのではないのでしょうか。しかし、「自分の朝食は、主食・主菜・副菜がそろっていますか？」と問われるとどうでしょう。自信をもって「当てはまる。」と回答することができるでしょうか？

広島県教育委員会が実施した、令和7年度 広島県「食に関する実態調査」の結果においては、「主食・主菜・副菜がそろった朝食を食べることは大切なことだと思います。」と回答した児童生徒の割合は92.5%でした。

また、「食事の時間が楽しみです。」と回答した児童生徒の割合は93.2%で、令和2年度以降最も高い割合となっており、多くの児童生徒が「食＝楽しい」と感じています。朝食の時間も児童生徒が「楽しい」「ワクワクする」時間になりたいものです。

では、そのために子供たちはどんなことができるでしょうか？例えば、「ゆっくり朝食を食べるために10分早く起きる。」というのも充実した朝食の時間とするための一つの方法かもしれません。また、「食器やコップ、お箸の準備をする。」「バナナやみかんなどの果物を用意する。」なども、家族としての役割の一つであり、調理をしなくても自分でできる取組です。さらには、今年度の「ひろしま給食推進プロジェクト」において作成した食育教材動画「トマトのひみつ」で取り上げた「トマトの栄養」を理解したうえで



(令和7年度 広島県「食に関する実態調査」結果より)



「トマトのひみつ」で取り上げた「トマトの栄養」を理解したうえで食べることも、食事を楽しむ方法の一つではないでしょうか。

このように、充実した朝食の時間とするためには、子供たちの発達段階に応じて、まずは自分が無理なくできることから取り組んでいくことが大切です。「陽だまり No.77」でお伝えしたように、朝食の状況と体力の向上には大きな相関関係があります。朝食を毎日食べることが、体力の向上において重要な役割を担っています。

ぜひこの機会に、家族で充実した朝食の時間とするためにできることは何かを考え、広島県教育委員会ホームページに掲載している食育教材動画等を活用しながら、家庭での食育の時間にしていただくと幸いです。



■広島県教育委員会ホームページ

(<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/kyouiku/juten-kyusyokusuisin.html>)

広島県 PTA 連合会の事業はどのように決まっているの？

広島県 PTA 連合会の事業は、主に『理事会』で協議され決定しています。
各都市からの理事・監事が集まり月に1回程度の理事会を行っています。

三役会

午後からの理事会に向けて、午前中に会長・副会長・会計の三役が集まり、協議事項等の打ち合わせを行います。

理事会

理事全員が集まり、今後の事業や方針等について協議・決定します。
理事の皆さんが主体的に意見し、闊達な会議となっています。
※理事会の議事録はホームページでご覧いただけます。

委員会

理事会の後、下記の3つの委員会に分かれて会議を行います。

- * **総務委員会** 主に会則の見直しや事業計画の作成をしています。県P連全体の運営にかかわります。
- * **教育研修委員会** 県P研究大会や会長研修会の講師選定など、主に研修会の計画・実施を担います。
- * **広報委員会** 主に広報紙「陽だまり」の作成をしています。県P連の活動を知っていただくための広報活動等を行っています。

監事

県P連の会務・会計監査を担います。理事会のあと、監査を行います。



～広報委員会より～

今年度もラストスパートの時期にさしかかり、広報紙も最後の発行となりました。
広島県 PTA 連合会は、会員の皆さまと一緒に子どもたちのために活動しています。「陽だまり」は県P連の活動をより分かりやすく知っていただくために発行しています。一年間ご覧いただきありがとうございました。

小・中学生総合保障制度ご加入のすすめ

「もしもが起こった時に大切なお子さまを守る」その備えのご案内です。

お子さまが
加害者に



©東京海上日動

お子さまが
ケガ



©東京海上日動

自転車による
事故も補償

学校内 通学途中 ご家庭
お子さまがいつでもどこでケガしても
24時間補償!

保険料 **最大約29%割引!**
※団体割引25%、損害率による割引5%適用!

詳しくは
動画でご確認



小・中学生総合保障制度は団体総合生活保険のペットネームです。この広告は「広島県 PTA 連合会小・中学生総合保障制度」の概要について紹介したものです。保険の内容はパンフレットをご覧ください。ご加入にあたっては、必ず広島県 PTA 連合会ホームページに掲載の「重要事項説明書」をよくお読み下さい。補償を受けられる方またはその家族が、補償内容が同様の保険契約を他にされているときには、補償が重複することがあります。ご不明な点がありましたら取扱代理店・引受保険会社までお問合せください。

令和8年2月作成 25TC-005606

[引受幹事保険会社、ご意見・ご相談先] **パンフレットのご請求はこちらまで**



東京海上日動火災保険株式会社

お問合せ先・取扱代理店：(株)東京海上日動パートナーズ中国四国 TEL：0120-018-217
保険会社：東京海上日動火災保険株式会社 広島支店 広島支社 TEL：082-511-9194

[共同引受保険会社]

あいおいニッセイ同和損保

MS&A INSURANCE GROUP